

上越の希望探求室方針

室長 北島 稔一

平成の大合併から12年がたち、合併当時21万人いた人口も20万人をわり込みました。ここ上越市も人口減少という世の中の流れに乗ってしまっています。それに伴い地域の活力が失われつつあり、市民の声に耳を傾ければ「今の上越に魅力や希望なんてない」との声が聞こえてきます。それを打開するには、多くの人々と共に歩まなければならず、その先導役として我々J Cが運動を展開し、地域の人達と協働を図る必要があります。

当室では「新たな産業の探求」「交流人口の増加」という2つのテーマを切り口に、市民や市民団体と連携しながら、上越の希望を探求していきます。ここ上越市は世界有数の豪雪地帯であり、その恩恵が多種多様に見受けられます。しかしながら市民の多くは雪を快く思っておりません。負と捉えられていた雪を最高の資源と捉え、雪を利活用した新たな産業の創出を目指し運動を展開します。また、交流人口の増加という目的の元、我々J Cが賛同して頂ける同志を求め増やし活動する事で、市民との協働に向け礎を築きます。しかしどれほど素晴らしい運動を行っていても共に参画しなければ意味を成しません。それにはまず、上越オクトーバーフェストIN蓮まつりで市民と我々J Cがしっかりとした戦略を立て、それらを共有し実行する事が肝要であり、今回のオクトーバーフェストがモデルケースとなるべく市民を巻き込み共に作り上げる事が、初めの一步になると考えます。最後に事業費の緊縮が進む中で、各事業を斬新なアイデアで作成し、多くの人々に発信する事で、クラウドファンディングといった資金調達方法を有効利用し活動してまいります。

上越市に住む誰もが皆、この上越の新たな魅力を模索しております。我々J Cの活動が市民を巻き込み新たな運動を展開し、新たな産業を作る事で、地域の想いは確かな形となり普及していきます。市民と共に協働する事が上越の地方創生の一助になると確信します。

【運営方針】

1. 市民と協働し「交流人口増加」の新たな可能性を創出します。
2. 上越の雪を使った新たな産業の創出を目指します。
3. 公開討論会を開催し、今後のリーダーとなる人たちと新たな上越の希望を探求します。